

溝小だより

<https://mizonobe-kahoku.edumap.jp/>

河北町立溝延小学校
学校通信 No.387
令和7年11月30日

表現する楽しさを実感！学習フェスタ



1年生

11月1日(土)に、溝延小学校体育館で学習フェスタを行いました。学習フェスタ(学習発表会)では、仲間と協力して一つの作品を作り上げる経験を通じて、子どもたちは表現力やチームワークの大切さを学びます。このような活動は、子どもたちにとって自己表現の場であり、達成感を味わうことができる貴重な機会です。ですから、個人発表ではなく、みんなで発表することが大切です。



2年生

今回も、1年生から6年生まで、歌や演奏、手話や劇など、それぞれ工夫された素晴らしい発表でした。大きな声でセリフを言うことや、楽器演奏や歌にも得意不得意はありますが、それを仲間がカバーし合うことで、みんなで一つの作品を作り上げていました。たくさんの観客の前で発表することは緊張するものですが、発表が終わった後の子どもたちの表情には、安心したような笑顔と充実感が表れていました。寒い中、体育館まで見に来てくださった保護者の皆さん、地域の皆さん、温かい拍手をありがとうございました。

なお、4年生は、11月9日(日)の溝延文化祭でも桜堤清流太鼓を披露する機会をいただきました。会場の皆さんから大きな拍手をいただき、とてもうれしそうでした。太鼓の運搬などでは実行委員の皆さんにご協力いただきました。地域の皆様に重ねて御礼申し上げます。



4年生



5年生



3年生



6年生

本校ホームページへ
こちらからもどうぞ



動物のお話を聞いたよ



これまで溝延小学校では、「みんながもっと楽しめる動物園になってほしい」との思いから、河北町児童動物園に、本やおもちゃ、動物のエサなどのプレゼントを贈る活動を行ってきました。そんな思いにお返しをしたいと、元八木山動物園副園長で河北町児童動物園学芸員の阿部敏計さんが、動物についてのお話をしに学校に来てくださいました。1・2年生には、八木山動物園で飼育していたゴリラのドンやウサギのタピオカについての楽しいエピソードを通して、動物と仲良くなるために大切なことを教えてくれました。また、3～6年生には、河北町児童動物園にいる動物たちの名前を、その由来などを交えて教えてくれました。動物たちは、名前を呼んでもらうとうれしいので、ぜひ名前を呼んでほしいとのことでした。今度、動物園に行くときにはまた違った楽しみ方ができるといいなと思います。



SOSの出し方教室



11月7日（金）、5年生を対象に「SOSの出し方教室」が行われました。相談のステップを、「①不調に気づく②相談先がわかる③言葉にして相談する④反応を受け止める」の4段階でわかりやすく教えてもらいました。悩みが大きいほど相談のハードルが上がりやすいので、普段から早めの相談やプチ相談・会話ができていると安心感がアップすることでした。教室の中で、友達と実際にロールプレイでのやりとりをしてみてもわかったこともありました。これからの生活に活かしていけるといいなと思います。



入賞おめでとう！

【べに花の里こども俳句大会】

秀逸 6年 眞木 ちひろ

【県土未来図絵画コンクール

佳作 6年 高橋 紅

【建設業労働災害防止作品コンクール】

入選 4年 奥津 佑季

土砂災害防止に関する絵画】

